

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 2024年3月9日

アンケート期間: 2024年2月5日～2024年2月24日

事業所名 **あおぞらキッズ放課後等デイサービス** 保護者等数(児童数) **20** 回収数 **20** 割合 **100** %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	2	0	3		過ごしやすい環境を提供できるよう、定期的にレイアウトの見直しをします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	3		今後も社内研修の機会を確保し、専門性の向上に努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	0	0	6	自分の子どもが必要としていないためか、よく見ていませんでした。	玄関に階段や段差などありますが、職員が安全を確保していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	18	1	0	1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	17	1	0	2	平日も調理レクがあったらいいと思います。	長期休みの平日にも、調理レクを予定していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	4	14	無くて大丈夫です。	現在、他機関との交流の予定はありません。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	1	0	0		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	12	4		今後、感染状況をみながら、保護者会等を検討していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	0	0	3		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2	0	1		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	5	0	1		
	14 個人情報に十分注意しているか	19	1	0	0		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	3	0	6		保護者様へ周知不足であることを確認しましたので、再周知できるよう対応していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	1	0	6	週に2回程の利用なので、行っていない日に行っているかも？	避難訓練実施後に、保護者様に訓練内容をお伝えしていきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	19	0	0	1		

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:2024年2月22日

公表:2024年3月9日

事業所名 あおぞらキッズ放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動内容に応じて環境を整えています。	今後も限られた空間を有効に使用しながら、安全を考慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		トイレに手すりを設置しており、該当児童が身体を支えられるよう、安全性を配慮しています。	玄関に階段や段差などありますが、職員が安全を確保していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		PDCLA表を掲示して、実行と振り返りを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			ホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		社内研修だけでなく、外部研修もオンライン等で参加できるよう、調整しています。	今後も様々な内容の研修を実施受講し、職員のスキルアップに繋げていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		月に1回、改善会議を行っています。	今後も会議内で、活動プログラムの立案をチームで行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		全職員が朝礼に参加し情報共有を行っています。	今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		当日中に共有ツールにて振り返り等を行っています。	送迎等で当日中に共有が難しい場合は、翌日の朝礼時に振り返り等を行っていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		現時点では該当がありません。要望等がありましたら、情報共有していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現時点では該当がありません。要望等がありましたら、情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		感染症対策や保護者様の中には「無くて大丈夫です。」という意見もありましたので、これまでは実施していません。今後は、状況に合わせて対応していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時、電話、連絡帳、写真共有アプリ、面談等にて、児童の様子をお伝えしています。	今後も継続していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に、説明させていただいています。	限りある時間の中で、保護者様にご理解いただけるような説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		感染症対策のため、これまでは実施していません。今後は、状況に合わせて対応していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		
	35	個人情報に十分注意している	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者様には各対応の周知が不足しているため、再周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			